

理学部応用数学科

学位（教育）プログラム名：応用数学

❖ 養成する人材像・教育課程の特色

応用数学科は、探究心、向上心を持ち、数学の学修を通じて養われた柔軟な発想力、豊かな創造力のもと、社会で直面する諸問題を解決する力を備え、社会の健全な発展に寄与する人材を養成することを目的とします。そのために、数学・情報数理の専門知識、さらには数学のみならず、自然科学・人文科学・社会科学・語学の幅広い教養が身に付くように、カリキュラムが編成されています。講義はもちろん、数多く設置された演習・実習、あるいは3年次後期より始まるゼミナールを通じて、数学・情報数理の理論と応用を学び、計算や定理の証明を丹念に行い、粘り強く、必要に応じて視点を変えて考え抜くことにより、論理的な分析力、思考力を養うことを目指します。

❖ 求める人材像（求める能力）

● 知識・理解

応用数学科で学んでいく上で必要な、高等学校における数学の十分な基礎学力がある人

● 技能

自分の考え、知識を筋道立てて、論理的に説明することができる人

● 態度・志向性

数学に対する探究心・向上心・好奇心を持ち、主体的に学習する意欲を持っている人

● その他能力・資質

数学を通じてコミュニケーションが取れる人

❖ 入学者選抜のねらい

応用数学科は、数学や情報数理を学ぶ意欲にあふれる人材を、国内外から広く受け入れます。そのために、これまでに培われた基礎学力を評価する多様な入学試験を実施します。